福祉や医療の充実、地域経済と雇用を守り、

来年度予算についての要望書を幸山市長に提出

10月26日、日本共産党重松 地区委員長と市議団は、幸山市長 に、来年度予算編成について、約 170項目の要望書を提出し、く らしと福祉を守る予算編成を求 めました。

国は消費税増税や年金の引き 下げなど、住民へのさらなる負担 を強行しようとしています。こう した時だからこそ、熊本市が市民 のくらしを守る防波堤の役割を 果たすこと求められています。



市長に対し申し入れをする重松地区委員長と市議団

予算要望には幸山市長が対応し、 「出された要望については、予算編 成に向け精査する」と答えました。

【防災と安全・安心のまちづくり】

- 7.12 豪雨水害については、被災者の 生活・住宅再建にむけ、支援制度を より充実させること。
- 立野ダム建設推進の立場を見直し、 国に情報公開の徹底を求めるとと もに、住民参加による治水対策の検 証を行うこと。
- 原発ゼロを国に働きかけるととも に、市としても自然エネルギー推進 に積極的に取り組むこと。
- 災害緊急時に対応できる情報発信 の設備を市全域に整備すること。

【保険・福祉分野】

- ・ 国保料の引き下げなど安心して医療を 受けることができるよう国民健康保険 の改善を図ること。
- ・ 介護保険料の引き下げや減免制度の充 実、特別養護老人ホームなど施設整備と 増設、ホームヘルパーによる生活援助時 間の機械的な短縮を行わないこと。
- さくらカードの利用者負担を無料にす
- 市税・保険料・保育料・医療費窓口負担 などの減免制度を広く市民に知らせ、減 免制度の利活用を促進すること。

日本共産党 市議会だより

発行:日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

NO. 824 2012年11月4日 328 - 2656FAX 359-5047

熊本市中央区手取本町 1 - 1 議会棟 ホーム:http://www.jcp-kumamoto.com/

「暮らしやすさ」実感できる予算編成を!

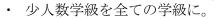
| 政令市・まちづくりなど|

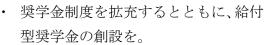
- 「龍田出張所」を総合出張所に拡充 すること。
- ・ 合併特例区は廃止すること。
- 3000 人規模の国際会議場建設を見 直すこと。
- ・ ゆきづまった花畑町再開発計画は見 直し、産文会館については、改修し、 利活用すること。
- ・ 駐輪場有料化を見直すと同時に、自 転車利用促進を図ること。
- ・ 住宅リフォーム助成事業を創設し、 地域経済の活性化を図ること。



※そのほか、農業政策、環境、行財政改革などに ついても要望しました。全文は、市議団ホームペ ージからご覧いただけます。

子育て・教育分野





- 保育料の軽減、認可外保育所への助成 拡充を。
- ・ 子ども医療費助成については、自己負 担の撤廃と中学3年までの拡充を。

幸山市長:貧困対策、憲法の平和条項の大切さに言及 予算要望のやりとりのなかで幸山

市長は「現在、最低限度の生活を送る ことができない方もいる中で、なんら かの対策を講じる必要がある」「戦争 を二度と繰り返さないということか らも、憲法を大切にしなければ」など、 貧困への課題や憲法についての思い などにも言及しました。

議会運営委員会行政視察報告~日本共産党市議会議員 益田牧子

議会改革の目的は「市民参加」「市民に開かれた議会」

議会運営委員会は、10月23日~25日、大東市議会、名古屋市議会、神戸市議 会を「議会改革」を中心に視察を行い、益田牧子議員が参加しました。いずれも、 「いかに市民の声を議会に反映するか」を検討し、実践されていました。特に印象的 だったのは、2 元代表制を踏みにじる河村市長の下での、名古屋市議会の取り組み でした。大東市議会は、日本共産党議席は17名中3議席(占有率18%)で、「改 **革」を進めていました。視察を活かし、諦めないで、熊本市議会での改革に取り組み** ます。以下に主な議会改革の取り組みを紹介します。

大東市議会~日曜・夜間議会など市民参加を実践

化」の取り組みを実践し、1 年近い議会 での協議・勉強会、パブリックコメントを 経て、11年3月議会で成立していま す。

13回当選のベテラン議長の下で、良

議会基本条例は、様々な「議会活性」いことは、何でも実践しようと市民に開 かれた議会改革が進んでいました。

> 能本市議会では、本会議や委員会で の「パネル持ち込み」まで禁止事項とな りましたが、パワーポイントを取り入れた 審議が行われており意を強くしました。

【主な議会改革項目】

- *日曜・夜間議会の開催(2000年~年それぞれ1回)
- *議場を市民に公開・議場コンサート・講演会(04年~年3回)
- *現場に出かけ、意見を聞く「出前委員会」(07年~5回の実績)
- *出前議会報告会3か所:会派担当制で実施、5会派から1名報告(09 年~)
- *出前政策意見懇談会:11年10月1日(土)夜に区長会、連合婦人会、 商工会議所、文化協会、体育協会、青年会議所などが意見表明、参加 者 80 名
- *議会傍聴に市内の 66 団体を招待
- *市議会市民レポーターの設置(各会派の推薦)



神戸市議会での対面発言台

神戸市議会~通年議会へ

議会基本条例は、11年7月から、13回会派 代表による協議、パブリックコメントを経て、 制定されています。2会期制を採用し、12 年3月議会から、本会議場に対面型の発言 席を設置し、一問一答方式が採用されてい ます。熊本市議会でも、ぜひ実現したいもの です。

名古屋市議会~市民参加演説制度など議会改革

数削減」などの2元代表制を踏みにじる名 を明記した議会基本条例を2010年3月議 会で制定しています。09年12月から、学識 経験者による講演会や勉強会、先進地調 査、9回の研究会、3分科会(わかりやすい

河村市長提案による「議員歳費半減、議員 議会、議会の機能と位置づけ、政策提言・立 案機能)での各 4 回の論議を重ね、市民意 古屋市議会。名古屋市議会は、議会の役割 見の聴取を経て、全会一致で成立していま す。図書室も、市民への貸し出しが実現して います。(議会前7日~開催中は中止) 12 年 1 月に、「議会改革推進会議」を設置し、 更なる改革の検討が進められています。

【主な議会改革項目】

- *3 分間議会演説:各常任委員会で市民7人まで0 K(10 年2月議会~)
- *議長・副議長選挙での所信表明演説(12年3月議会~)
- *議会だよりへの全議員名をいれた賛否表を掲載(11年3月議会~)
- *議会報告会の開催(10年4月に開催、12年6月、11月にモデル実施)
- *議長・副議長による定例議会の前・後の記者会見(10年6月~)
- *委員会のインターネット中継(11年3月~)
- *委員会での委員間での討議(11年3月~)